

第 6 9 期事業報告書

(自：令和 7 年 4 月 1 日 至：令和 8 年 3 月 3 1 日)

株式会社 札幌振興公社

目 次

I 会社の現況に関する事項

	頁
1. 事業の経過及び成果	1
2. 対処すべき課題	2
3. 設備投資及び資金調達の状況	2
4. 財産及び損益の状況	2
5. 主要な事業内容	3
6. 主要な事業所	3
7. 従業員の状況	4
8. 重要な親会社及び子会社の状況	4
9. 主要な借入先及び借入額	4

II 会社の株式に関する事項

1. 株式会社が発行する株式の総数	4
2. 発行済株式の総数	4
3. 株主数	4
4. 株主	4
5. 会社の新株予約権等に関する事項	4

III 会社の役員に関する事項(附属明細書記載事項を含む)

1. 取締役及び監査役の氏名等	5
2. 役員の報酬等の総額	5
3. 社外役員の主な活動状況	6
4. 社外役員の報酬等の総額	6

事業報告

I 会社の現況に関する事項

1. 事業の経過及び成果

令和7年度の事業の経過につきましては、物価高騰の影響による消費マインドの停滞が見られた一方、円安を背景にしたインバウンド需要は引き続き堅調に推移しました。

このような状況の中、不動産賃貸事業につきましては、北8西1再開発ビルのテナントが出揃い本格稼働となったことに加え、大谷地アドバンシービル立体駐車場のオフィス化により札幌市東部市税事務所が新たに入居したことなどから、前年度比で大幅な増収増益となりました。

駐車場事業につきましては、月極駐車場の利用に伸び悩みが見られたものの、SDC南1西6駐車場および大谷地アドバンシービル立体駐車場の運営外部委託による効率化などにより、事業全体として前年度比で増収増益となりました。

大倉山・藻岩山両観光事業につきましては、インバウンド需要は堅調に推移したものの、大倉山では、修学旅行を含む国内団体利用の減少が影響し、前年度比で減収減益となりました。また、藻岩山につきましては、昨年7月20日に発生したミニケーブルカーの故障に伴い、繁忙期である8月下旬までの約1か月において、臨時休業や営業時間短縮を余儀なくされたことから、その後来場者数の回復傾向が見られたものの、最終的には前年度比で減収および大幅な減益となり、全社の経常損益に大きな影響を及ぼしました。

料飲事業につきましては、「SAPPORO VIEWTIFUL DINING」ブランドによる販促効果に加え、テレビ塔レストランのビアガーデンが好調に推移したことなどから過去最高の売上高となり、事業全体では前年度比で増収減益となりました。

以上の結果、事業別収支概況は下表のとおりとなっており、全事業合計の総収入は3,715,185千円、総支出は3,767,405千円、当期の経常損失は52,220千円となりました。

なお、特別損益として、藻岩山ミニケーブルカー故障に伴う休業等に係る損害賠償金92,400千円を特別利益に計上したほか、幌北総合センター解体に伴う借地権消滅補償金57,081千円を特別利益に計上し、一方で同物件のテナント立退補償費51,782千円を特別損失に計上しております。

これらの結果、当期純利益では黒字を確保しましたが、最終的には前年度比で増収減益となりました。

<事業別収支概況>

事業別の経常損益につきましては、次のとおりであります。

(単位：千円)

区 分			総 収 入	総 支 出	うち減価償却費	経常損益
不 動 産 賃 貸	不動産		1,461,808	1,151,651	429,913	310,157
駐 車 場	直営駐車場	時間・定期駐車場	115,657	61,073	754	54,584
	駐輪場 ※	札幌駅・大通周辺駐輪場管理	127,502	125,199	0	2,303
大 倉 山	直営事業	索道他	129,168	190,443	41,937	△ 61,275
	ジャンプ競技場 ※	施設管理・利用料金・売店	317,930	342,907	10,991	△ 24,977
藻 岩 山	索道・売店・道路		821,080	685,610	135,157	135,470
料 飲	レストラン・カフェ他		732,102	784,986	28,010	△ 52,884
一 般 管 理 部 門			9,938	425,536	6,798	△ 415,598
合 計			3,715,185	3,767,405	653,560	△ 52,220

(注)1. ※は指定管理者としての業務となっております。

(注)2. 札幌市から受託した文書保存センターにつきましては一般管理部門に含めております。

2. 対処すべき課題

今後の経営状況につきましては、インバウンド需要の継続が期待される一方、物価やエネルギー価格の高止まり、人件費の上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。

このような状況の中、当社は令和9年(2027年)に創立70周年を迎えますことから、これまでに培ってきた経験・実績を踏まえ、将来を見据えた持続可能な経営基盤および組織力の強化に取り組んでまいります。また、7月に予定している本社の「さっぽろ創世スクエア」への移転を契機として、職場環境等の整備を進めるとともに、DX化や人材育成、中長期ビジョンの策定などを通じて、持続的成長に向けた経営体制の強化を図ってまいります。

不動産賃貸事業につきましては、現有資産の更なる拡充を進めるとともに、市場動向を踏まえた適正な賃料水準の確保に取り組み、収益基盤の強化を図ってまいります。

駐車場事業につきましては、運営体制の効率化や事業採算性を踏まえた見直しを進め、安定的な事業運営と収益力の向上に努めてまいります。

大倉山・藻岩山両観光事業につきましては、安全を最優先とした施設運営を徹底するとともに、各種イベントやPR施策、他観光施設との連携強化などを通じて、引き続き国内外からの誘客促進に取り組んでまいります。

料飲事業につきましては、「観光×レストラン」の特性を最大の強みに「SAPPORO VIEWTIFUL DINING」のブランド展開を一層推進するとともに、4拠点レストランのそれぞれの特色を活かした運営を効果的に行うことにより、事業全体の収益力向上を目指してまいります。

3. 設備投資及び資金調達の状況

1) 設備投資の状況

当期中に実施した設備投資の総額（リース資産を含む）は、935,905千円で、その主なものは次の通りです。

大谷地アドバンシービル駐車場事務所化工事等	614,761千円
北8西1地区再開発（さつきた8・1）建築・設備工事等	152,986千円
ラブリック・ルスツ羊蹄ぶた開業関連工事等	52,017千円

2) 資金調達の状況

当期中に調達した資金の総額は、258,000千円で、内訳は次のとおりです。

大谷地アドバンシービル改修工事資金	258,000千円
-------------------	-----------

4. 財産及び損益の状況

	第66期 (令和4年度)	第67期 (令和5年度)	第68期 (令和6年度)	第69期 (令和7年度)
売上高(千円)	2,780,835	3,166,903	3,361,676	3,651,654
営業利益(千円)	15,041	107,429	104,266	2,788
経常利益(千円)	35,815	75,655	70,110	△52,220
当期純利益(千円)	32,448	62,485	47,133	41,938
1株当たり当期純利益(円)	293.11	564.43	425.76	378.83
総資産(千円)	12,763,810	12,870,931	13,517,817	13,181,450
純資産(千円)	2,321,184	2,383,670	2,424,825	2,460,786
1株当たり純資産(円)	20,967.48	21,531.92	21,903.68	22,228.51

(注)1. 1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産は小数点第2位未満をそれぞれ切捨てて表示しております。

(注)2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数に基づき算定しております。

(注)3. 1株当たり純資産は、期末発行済株式総数に基づき算定しております。

5. 主要な事業内容

- (1) 不動産の賃貸（宮の沢ターミナルビル、白石ガーデンプレイス、さつきた8・1他）
- (2) 駐車場の経営（宮の沢駐車場、大谷地東駐車場他）
- (3) 札幌市ジャンプ競技場等の管理運営（指定管理者）
- (4) 大倉山ジャンプ競技場リフト・売店の経営
- (5) 藻岩山ロープウェイ・売店・観光道路の経営
- (6) 札幌市札幌駅周辺自転車等駐車場の管理運営（指定管理者）
- (7) 札幌市大通周辺自転車等駐車場の管理運営（指定管理者）
- (8) レストランの経営（ザ・ジュエルズ、ヌーベルプース大倉山、ザ・ガーデン サッポロ、
LA BRIQUE SAPPORO AkarenngaTerrace他）
- (9) 損害保険代理業

6. 主要な事業所

名 称	所 在 地
本 社	札幌市中央区北12条西23丁目2番5号（SDC北12条ビル4階）
宮の沢ターミナルビル （防 災 セ ン タ ー）	札幌市西区宮の沢1条1丁目16番地1他
白石ガーデンプレイス （防 災 セ ン タ ー）	札幌市白石区南郷通1丁目南22番4
セ レ ス タ 札 幌 （防 災 セ ン タ ー）	札幌東区北12条東7丁目6番地他
大倉山ジャンプ競技場	札幌市中央区宮の森1274番地
藻 岩 山 ロ ー プ ウ ェ イ	札幌市中央区伏見5丁目3番7号他
駐 輪 場 （ 札 幌 駅 周 辺 ）	札幌市中央区北5条西5丁目7番地（札幌55ビル1階）
駐 輪 場 （ 大 通 周 辺 ）	札幌市中央区南1条西2丁目（西2丁目線地下）
ザ ガーデン サッポロ	札幌市中央区大通西1丁目（さっぽろテレビ塔3階）
LA BRIQUE SAPPORO AkarenngaTerrace	札幌市中央区北2条西4丁目1（赤れんがテラス3階）

7. 従業員の状況

(令和8年3月31日現在)

区 分	従業員数	平均年齢	平均勤続年数
正社員（総合職）	57 名	43.7 歳	12.9 年
正社員（専任職・専門職 月給）	85 名	38.2 歳	3.9 年
正社員（再雇用、嘱託）、契約社員	8 名	63.6 歳	15.2 年
合 計	150 名	—	—

(注) 上記以外の従業員は、臨時社員12名、パート87名（実雇用人数）であります。

8. 重要な親会社及び子会社の状況

1) 親会社の状況

札幌市は当社株式の88.08%（97,504株）を保有しており、当社は札幌市の第三セクターであります。

当社は、札幌市から土地等を賃借し、宮の沢ターミナルビル賃貸事業等の不動産賃貸事業及び宮の沢駐車場等の駐車場事業並びに藻岩山ロープウェイ等の観光事業を行っております。

また、札幌市の指定管理者制度により、札幌市ジャンプ競技場等管理運営業務について指定管理者として指定を受けております。

2) 子会社の状況

該当はありません。

9. 主要な借入先及び借入額

(令和8年3月31日現在)

借 入 先	借 入 残 高
(株) 北 洋 銀 行	2,028,366千円
(株) 北 海 道 銀 行	1,324,570千円
(株) 日 本 政 策 金 融 公 庫	620,759千円
(株) 日 本 政 策 投 資 銀 行	275,000千円
北 海 道 信 用 金 庫	97,081千円
合 計	4,345,776千円

II 会社の株式に関する事項

1. 会社が発行する株式の総数 120,000株
2. 発行済株式の総数 110,704株
3. 株主数 6名
4. 株主

株 主 名	出 資 状 況	
	持 株 数	出 資 比 率
札 幌 市	97,504 株	88.08 %
(株) さ っ ぽ ろ テ レ ビ 塔	6,240 株	5.64 %
札 幌 商 工 会 議 所	4,160 株	3.76 %
(株) 北 洋 銀 行	1,600 株	1.44 %
(株) 北 海 道 銀 行	800 株	0.72 %
北 海 道 瓦 斯 (株)	400 株	0.36 %
合 計	110,704 株	100.00 %

5. 会社の新株予約権等に関する事項

該当はありません。

Ⅲ 会社の役員に関する事項

１．取締役及び監査役の氏名等

(令和８年３月３１日現在)

地 位	氏 名	担当及び他の法人等の代表状況
代表取締役社長	栗 崎 寿 也	
専 務 取 締 役	村 田 祐 一	
常 務 取 締 役	中 目 晃 嗣	
常 務 取 締 役	松 川 泰 昭	
取 締 役	阿 部 雅 司	
取 締 役	和 田 康 広	札幌市 経済観光局観光・MICE担当局長
取 締 役	芝 井 静 男	札幌市 交通事業管理者
取 締 役	白 濱 光 人	㈱さっぽろテレビ塔 代表取締役社長
取 締 役	廣 田 恭 一	札幌商工会議所 専務理事
取 締 役	権 平 宗 中	㈱北洋銀行 執行理事 公金・地域産業支援部長
取 締 役	平 川 昌 之	㈱北海道銀行 常務執行役員 本店法人営業部本店長
取 締 役	八 木 渉	北海道瓦斯㈱ 常務執行役員 総務人事部担当総務人事部長
監 査 役	愛 須 一 史	弁護士法人水原・愛須法律事務所 弁護士
監 査 役	上 田 恵 一	上田恵一公認会計士事務所 公認会計士 税理士

(注) １．和田康広氏、権平宗中氏は、令和７年５月３０日取締役に就任いたしました。

(注) ２．栗崎寿也氏は、令和７年６月２４日代表取締役に就任いたしました。

(注) ３．浦田洋氏は代表取締役に、元木朗氏は常務取締役に、令和７年６月２４日退任いたしました。

(注) ４．和田康広氏、芝井静男氏は令和８年３月３１日取締役に退任いたしました。

(注) ５．取締役白濱光人氏、廣田恭一氏、権平宗中氏、平川昌之氏、八木渉氏は、会社法第２条第１項第１５号に定める社外取締役です。

(注) ６．監査役愛須一史氏、上田恵一氏は、会社法第２条第１項第１６号に定める社外監査役です。

２．役員の報酬等の総額

(単位：千円)

区 分	人 数	報酬等の額	報酬限度額
取 締 役	９ 名	39,670	60,000
監 査 役	２ 名	1,608	4,000
合 計	11 名	41,278	－

(注) 報酬限度額は、取締役については令和２年６月２９日開催の株主総会で、監査役については平成２０年６月２７日開催の株主総会で承認されております。

3. 社外役員の主な活動状況

区 分	氏 名	活 動 状 況
取締役	和 田 康 広	当社の業務執行者から独立した立場で必要に応じて、取締役会において議案の審議に必要な発言を行っております。
	芝 井 静 男	
	白 濱 光 人	
	廣 田 恭 一	
	権 平 宗 中	
	平 川 昌 之	
	八 木 渉	
監査役	愛 須 一 史	主に弁護士としての立場で必要に応じて、取締役会において法令及び定款遵守にかかる見地から発言を行っております。
	上 田 恵 一	主に公認会計士としての立場で必要に応じて、取締役会において法令及び定款遵守にかかる見地から発言を行っております。

4. 社外役員の報酬等の総額 (単位：千円)

社外役員の報酬等の総額	人 数	報酬等の額
	4 名	2,616